

クラスの様子【8月号】

●ひよこ・りす組 **今月の目標** 友達や保育士と一緒に夏らしい遊びを楽しみながら、体調に気をつけ、暑い夏を元気に過ごす。

7月も新しいお友達がひよこぐみに入りました。ひよこぐみ5名、りすぐみ17名の22名で過ごしています。新しいお友達も少しずつ、お部屋での生活の中で安心して過ごせるようになってきています。ひよこぐみの子ども同士、りすぐみの子ども同士、またひよこぐみの子どもとりすぐみの子どもとの関わりも増え、玩具を貸してあげる優しい場面もみられます。お互いの姿を見て、真似て遊びも広がっているように思います。室内遊びの中では、カラーボックスを自分でのぼり、一人でジャンプする子もおり、お友達の姿を見て挑戦したり、製作では野菜スタンプを絵の具につけてペタペタ押しして楽しみました。お天気の日には体調に合わせて水遊びもしています。水が苦手な子も、お友達の遊ぶ姿を見て少しずつ楽しめる様になってきました。プールやタライをいくつか用意し、スペースを作ることで、自分の遊びたい場所を自分で選んで楽しんでいるように思います。今後も体調に気をつけながら、夏ならではの遊びを経験できればと思います。そして、この機会に衣服の着脱等、少しずつ自分でできることが増えていければと考えています。(伊達)



●うさぎ組 **今月の目標** 水あそびやプール、泥んこあそびを通してお友だちと一緒に楽しむ。

今年はや早い梅雨明けとなりましたが、すっきりしない天候が続きいつの間にかセミの声が聞こえ始め暑い夏がやってきました。毎日何をしたいか選択しながら過ごしています。水あそび、プールなどを通して着脱する力や自分の持ち物の管理が少しずつ身についてきています。苦手なことや困っていることには、手伝ってもらえればできる、お友だちが教えてくれる、そんな生活の中から自分でできた喜びや助け合いを感じていけたらいいなと思います。コーナー遊びでも、一人遊びからお友だちと一緒に楽しい姿になってきています。その中で、待つこと、順番を守ること、我慢することなどを知り、人と関わる力の基礎を見守っていきたいと思います。種から芽を出し畑に引越した小さな小さなオクラも、たくさんの人の力をかりて収穫できるようになりました。オクラが苦手な子でさえも、思わず“欲しいー”と言ってしまうくらい愛着のあるオクラになっています。プチトマトのおすそわけもあり収穫できると欲しい子が持ち帰っています。そのたびに、家族の人数分を数えている姿は何ともかわいらしくほほえましいです。そんな優しさをご家庭のみなさんと味わえる収穫となっています。毎日の生活の中で、子どもたちの優しさに触れながら暑い夏をこれからも元気いっぱい過ごしていきたいと思います。(矢下)



クラスの様子【8月号】

●Aグループ **今月の目標** 夏ならではの遊びを楽しみながら衣服の着脱や整理整頓なども自分でしっかりできるようにする。

7月に入り、プール遊びが始まりました。各色のグループが交代でプールに入っているのですが、「プールまだ入らんのか〜？」と自分のグループがくる日を心待ちにしている子どもたちです。プールに入ると、顔に水がかかることが苦手な子やダイナミックに遊ぶ子など、様々な姿がありますが、子どもたちは「つめた〜い！」「きゃああ♪」と歓声を上げながら水の気持ちよさを味わっています。衣服の着脱も、早く入りたい！という気持ちが、進んで着替える意欲に繋がっており、自分で頑張る姿が増えているように感じます。中には汗で脱ぎづらく、思い通りにいかずに助けを求めにくる年少児の姿もありますが、着替えを終えた年中、年長児が率先して手伝ってくれ、ほっこりする場面もあります。頼ったり頼りにされたりする機会を通じて信頼関係が生まれ、その中で優しさや思いやりの気持ちが大きく育ってきているんだなと嬉しく思います。



今月も引き続きプール遊びや泥んこ遊びなど、夏ならではの開放的な遊びを楽しんでいきたいと思っています。暑さのため疲れやすくなりますので、水分補給や休息をしっかりと取り、体調管理には十分に気をつけながら過ごしていきたいと思います。(木下)

●Bグループ **今月の目標** 暑さに負けず夏ならではの遊び・活動を楽しむ

暑い日が続く、夏本番がやってきました。天気の良い日には、プールや水遊び、泥んこなどこの季節ならではの遊びを思いきり楽しんでいます。今年は「まずはやってみよう！」を目標にみんなが一度は水に触れる機会が持てるよう、子ども達に声掛けをしたり、興味を持てるような環境を設定してきました。すると「着替えるのがめんどくさい」「プールはきれい」と全くしようとしなかった子も、お友達がしているのを見て心が動いたり実際に試してみたら「たのしかった！つぎもやりたい」とプールや水遊びを楽しみにする姿が増えました。「水遊びは苦手だけどプールは好き」「いっぱい濡れるの嫌だけど泡や色水はやってみたい」など水遊びの中にもいろんな活動を取り入れたことで、子ども達が自分で考えて「これだったらしたい」と好きな活動を選んで参加するようにもなりました。一度試してみたら「やっぱり嫌だった」はその子にとって大事な経験であり「じゃあこれならできるかも？」と次の挑戦へのきっかけになるのではないかなと思います。水遊びやプールを通して、色々な事に対して「まずはやってみようかな？」の気持ちが子ども達の中で芽生えていけるようこれからも色々なことに取り組んでいきたいと思っています。



またBグループでは「うく・しずむ」の実験を楽しんでいます。活動選択する時に「おもちゃの救急車は水の中に入れてらうくかな？しずむかな？」というクイズを用意すると「おもいでしずむやろ！」「えーでもけっこうかるいで？」など子ども達同士であれやこれやと言いながら自分たちで考えていました。集まりで実際に実験すると救急車はぶか〜んと浮いてきて「ういたー！ー！」と子ども達は大喜び。「じゃあほかのやつはどうやろ？」「ラキューは？」「ハサミは？」など色々なものがでてきてみんなで実験しました。実験をする中で「これは中に空気があるでうくんちゃう？」「ガラスは重いでしずむ！」など子ども達が実際に目で見て感じたことで色々な発見があり子ども達にとって私たち保育士にとっても楽しい時間になりました。今後もうく・しずむだけでなく色々な不思議に思うことを子ども達と考えたり実験してみたいなと思います。(ゆい)